



# とっとり 県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

# 2023 3

特集 P2

オープンネス

## OPENNESS!

### アートで未来をひらこう

#### P5・6 県政トピックス

- 持続可能な地域交通構築
- 大人もヘルメット着用を
- パスポート申請オンラインでも

#### DATA

県人口/542,359人  
(男 259,437人、女 282,922人)  
世帯数/221,441世帯  
(2023年1月1日現在推計)

### 県からの お知らせ

#### インボイス制度への対応はお早めに

10月から消費税の仕入税額控除の方式として「インボイス制度」が始まります。インボイス(適格請求書)とは、売り手が買い手に対して消費税の正確な適用税率や金額を伝えるもの。10月からインボイスを発行できる事業者となるには、原則として3月末までに登録手続きが必要です。詳しくは国税庁のウェブサイトをご覧ください。

#### 【国税庁インボイス制度特設サイト】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>



☎ インボイスコールセンター ☎0120-205-553



障がいのある人たちのアート活動に取り組む特定非営利活動法人  
あかり広場(米子市)。参加者は思い思いの創作活動を楽しんでいる



@tottoripref



@tottori\_kouhou



@tottori.pref.kouhou



提供:横総合計画事務所 イメージ制作:ヴィック Vicc Ltd.

オープンネス

# OPENNES!

アートで未来をひらこう

県内で二つの新しい美術館が注目を集めています。

一つは2年後の開館に向けて準備が進む県立美術館。

もう一つは、今春オープンした障がい者アートのデジタル美術館です。

私たちの心を豊かにし、社会に新しい価値を生み出す「アート」の可能性に、期待が高まっています。

2025年 県立美術館開館

2025年春、「未来を『つくる』美術館」が倉吉市に新しく誕生します。キーワードは「OPENNES!」。誰もが日常的にアートに触れることのできる、地域に開かれた美術館です。フリーペーパーの発行やイベント開催など、県民参加型の準備プロジェクトを通じて、開館への期待もますます高まっています。

建設地は、市立図書館や倉吉未来中心などが集まる倉吉パークスクエアの一角。館内には県ゆかりの美術や広く国内外の優れた作品に出合える充実した展示スペースのほか、気軽に立ち寄れるカフェや家族向けのキッズスペースなども整備され、明るく開放的な雰囲気由来館者を迎えます。3階展望テラスまで入場は無料。美術鑑賞やアートイベントへの参加はもちろん、人々が多様な形で活用できる憩いの場所となることが期待されています。

3月は開館2年前を記念したイベントを続々開催。21日のフォーラムでは、いよいよ美術館のロゴシンボルマークがお披露目となります。

## EVENT



3.5  
sun

### OPENNESS! 未来を“つくる”美術館 2025年誕生に向けて

3月5日(日) 13:30~16:30  
米子市文化ホール(米子市末広町)

■ 座談会  
「鳥取県立美術館ってどんなところ?」

■ スペシャルトークセッション  
「これからの美術館が向かう未来」  
ゲスト: 山田五郎さん(編集者・評論家)

※会場参加の募集は終了しました。先着200人  
限定でオンライン参加を受け付けます

3.21  
tue

### OPENNESS! 未来をつくる デザインフォーラム

3月21日(火・祝)  
①11:00~11:40、②13:00~15:30  
倉吉未来中心(倉吉市駄経寺町)

① ロゴ・シンボルマーク審査結果発表&授賞式

② シンポジウム  
「美術館とデザインとの幸せな関係」  
ゲスト: 西澤徹夫さん(建築家)、桐山登土樹さん(富山県美術館副館長)、大田佳栄さん(株式会社ワコールアートセンター「スパイラル」チーフキュレーター)

参加の申し込みは  
ウェブサイトをご覧ください  
<https://tottori-moa.jp/>



## アートの種まきプロジェクト 「HATSUGAスタジオ」

アートに親しみながら多様な交流をつくる拠点「HATSUGAスタジオ」では、美術館開館までの間、アーティストによるトークイベントや家族で楽しめるプログラムなど、多彩な企画を開催しています。

県立博物館美術振興課  
山本亮専門員

「美術館がオープンしたら、こんなことができるんだ」と具体的にイメージできるようなプログラムを企画し、さまざまなアプローチでアートに親しみ、楽しむ活動を実施していきます!



HATSUGAスタジオのオープニングイベントでは県内在住のアーティスト 淀川テクニック(柴田英昭)さんと交流=倉吉市下田中町

☎ 県立博物館美術振興課  
☎0857-26-8045

アートを通じた学び  
豊かな未来へ

新しい美術館の特色の一つが、「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ(A.L.L)」の設置です。人類の歴史や文化、精神性などが凝縮されている美術作品を通して、豊かな想像力や創造性を養い、多様な文化や価値観への理解につながります。また、作品について意見を交わしながら鑑賞する「対話型鑑賞」やアートに触れる制作体験なども実施し、観察力や思考力、表現力などを育みます。

みます。

県立美術館では、小学生の美術館招待やコレクションの出張展示、アートを楽しむワークショップなど、学びを深めるさまざまなプログラムを計画しています。目指すのは、人々に何かを考えるきっかけを与え、社会に新しい価値を生み出す場所となること。未来に向けた美術館の挑戦に、どうぞご期待ください。



着々と工事が進む美術館。ウェブサイトでは「建設現場リポート」を発信中(写真は1月時点)

☎ 県教育委員会事務局美術館整備課  
☎0858・47・3011  
☎0858・47・3022  
✉ bijutsukan-seibi@pref.tottori.lg.jp

# アートが導く共生社会 県立バリアフリー美術館オープン

「県立バリアフリー美術館」は、障がい者アートの特化したインターネット上のバーチャル美術館です。既存の枠にとらわれない自由な感性や手法で注目を集める障がい者アート。その独自の世界観には、多くの人を惹きつける唯一無二の魅力があります。100点以上のぼる収蔵作品は専門家が県内の福祉施設を巡って発掘・厳選したものの。最新のデジタル技術を駆使し、パソコンやスマートフォンの画面から実際の美術館を訪れているような臨場感で鑑賞することができます。

社会のさまざまな垣根を取り払う力を持つアート。自由な表現の前に、立場の違いや障がいの有無は関係ありません。眠れる才能や隠れた個性に光をあて、社会参画の機会を広げることが、障がい者と健常者の対等な関係構築を促し、相互理解と共生の輪を広げる大きな力となります。ぜひバリアフリー美術館で、心に響く素晴らしい作品と出会ってください。

バリアフリー美術館  
<https://tottori-bfm.jp/>



## アートで知る アートでつなぐ

### 特定非営利活動法人あかり広場(米子市)

障がいのある人たちの生活・就労支援を行う「あかり広場」では、学芸員の経歴を持つ水田美世さんとの出会いを機に、2016年から本格的なアート活動を始めました。絵画、作詩、工作、書道など創作内容はさまざま。担当の渡部美帆さんは、皆が好きな活動を自由に楽しめる居心地のよい環境づくりを心がけています。気持ちを言葉にするのが難しい人でも自分を表現し、伝えることができるのがアート。作品を見て「こんなことができるとは知らなかった」と喜ぶ家族も多く、一人一人の個性や能力をより深く理解する機会となっていると話します。

活動をサポートする水田さんは、バリアフリー美術館の作品選定も担当。「日常生活では難点と捉えられることの多い強いこだわりや過集中も、制作の面では力となる。障がいから生まれる違いや特性をプラスに評価できるのもアート活動の良さ」と評価し、「その人にしかできない表現、モチーフや視点の多様性を楽しんでほしい」と呼びかけます。

バリアフリー美術館に期待するのは、アーカイブ機能に加え、作品のデータ化を通じた二次利用が拡大すること。デザインを使った商品制作などが進むことで、より多くの人や企業と関わりが生まれ、関心を持ってもらう機会も広がっていきます。「アートは人をつなぐきっかけとなる」と話す渡部さん。アートを通じ、障がいの有無を超えた理解や共感が広がっていくことを願っています。



アート活動は好きなことに夢中になれる時間。図柄を使って制作された商品には、作品の魅力が上手く生かされている



# 公共交通を便利に利用しよう

～持続可能な地域交通構築～



## ○実証実験で利便性実感

鉄道とバスをどちらも使えることによる効果を検証するため、鳥取～郡家～若桜間の鉄道と路線バスの両方に乗ることができる5日間共通パスの実証実験が、昨年10～12月に行われました。利用者からは、「通勤手段として自家用車から公共交通への切り替えを検討したい」という声も寄せられました。

スマートフォンなどで購入した共通パスを乗降時に提示すればJR因美線18往復、若桜鉄道14往復、日本交通若桜線15往復がすべて利用できる仕組み。モニターアンケートでは、本格発売された場合、約7割が「頻繁に使いたい」「たまに使いたい」と回答。「列車がない時間帯にバスを使えて便利」「車移動と比べて移動中の時間の使い方が自由」などの意見が寄せられました。

県西部では「<sup>ワイ</sup>マース」として、米子広域圏(米子市、境港市、西伯郡、日野郡、鳥根県安来市)のバス乗り放題1日券「わいわいパス」などを販売。スマホによる電子チケットで利用でき、4月から本格運用を予定しています。

### わいわいパス広域1日券(1000円)の活用例

- 米子駅発
- (法勝寺上)南部町の法勝寺川土手でお花見
- (米子駅経由)
- (皆生温泉観光センター)温泉をゆったり満喫
- 米子駅着

500円  
お得!

乗り放題なので途中下車で寄り道もできます。



県では公共交通の利便性を高め、自家用車以上に魅力的な移動手段としていく「Maas」の取り組みを推進しています。異なる交通機関をスマートフォン一つで利用できるなど、自家用車に頼らなくても出掛けやすい環境を整備することで、くらしの向上や観光の活性化を目指します。

県東部地域のマースを推進する鳥取市は、コミュニティバス「くる梨」に4月から交通系ICカード「ICOCA」を導入。県では将来的には他の交通機関のキャッシュレス化も図っていくよう検討を進めています。

観光面でも、公共交通の利用と観光施設の入場券などとセットになった共通パスの販売など、観光客に魅力的な商品を展開。土産物店や宿泊施設にキャッシュレス決済が普及することで、より快適に鳥取を満喫できます。

異なる業種が公共交通を軸につながることで、より便利で活気のあるまちづくりにつながります。

### 交通と他産業連携でまちづくり

交通事業者やIT企業、観光関連団体など多様なジャンルの事業者や個人でつくる「鳥取県Maasエコシステム共創コンソーシアム(略称:ToMEC)」では、生活の利便性を高めるため、登録団体が連携を深めています。

多業種が連携することで、例えばスーパーの駐車場の一角を路線バス乗り場やシェアサイクルの貸し出し場所にする、薬局からの薬の配達をオンデマンド交通(利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の公共交通サービス)が担うなどの取り組みが可能になります。

問 県庁地域交通政策課

☎0857-26-7641 F0857-26-8107

✉koutsuuseisaku@pref.tottori.lg.jp <https://www.pref.tottori.lg.jp/300840.htm>





## 自転車<sup>🚲</sup>のルールを守ろう ～大人もヘルメット着用を～

### 道路交通法で自転車に適用される違反

- 飲酒運転  
(酒酔い運転の場合、5年以下の懲役または100万円以下の罰金)
- 右側通行  
(車道通行時は左側通行)
- 無灯火  
(夜間や夕方などはライトをつける)
- 携帯電話による片手運転  
(傘さし運転も含む)
- 信号無視、一時不停止  
(信号機に従い、交差点は左右の安全確認)
- 二人乗り  
(大人が専用座席に幼児を乗せる場合は可)

違反すれば懲役や罰金の対象です。  
ルールを守って、安全に自転車  
を利用しましょう。



▶▶ 問 県庁くらしの安心推進課  
☎0857-26-7593 F 0857-26-8171  
✉ kurashi@pref.tottori.lg.jp  
https://www.pref.tottori.lg.jp/11000.htm



便利な自転車も、一歩間違えれば重大事故につながる恐れがあります。4月に施行される道路交通法の一部改正により、保護者が13歳未満の子どもにヘルメットを着用させる努力義務に加え、大人にも着用の努力義務が課されます。ルールやマナーを守って、安全に自転車ライフを楽しみましょう。

警察庁によると、自転車事故で死亡した人の約6割が頭部に致命傷を負っており、ヘルメットを着用しないと死亡率が約3倍に。頭を守ることはとても大切です。

鳥取県では既に条例で自転車利用者のヘルメット着用の努力義務が定められており、自転車通学の高校生をはじめ13歳以上の人にもヘルメット着用が浸透しています。

道交法を守るためのスローガン「自転車安全利用五則」も改定。信号を守ることや飲酒運転の禁止などが強調され、自転車も車両という意識が求められています。

## マイナポータル<sup>🌐</sup>で手軽に<sup>📄</sup> パスポート申請オンラインでも

### パスポート電子申請の流れ

スマートフォンなどから申請  
マイナポータル内<パスポート申請メニュー>

- 申請情報入力
- マイナンバーカード読み取り
- 顔写真の撮影
- 現在お持ちのパスポートのICチップ読み取り



電子申請 ※新規申請などは戸籍謄本郵送

県 審査・パスポート作成

窓口 パスポート交付



▶▶ 問 県庁交流推進課  
☎0857-26-7108 F 0857-26-2164  
✉ kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp  
https://www.pref.tottori.lg.jp/passport/



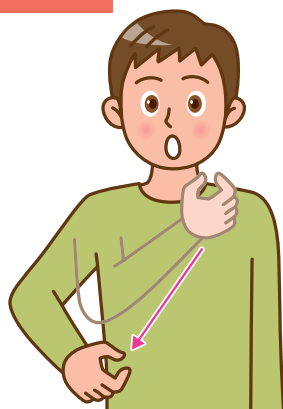
マイナポータル(行政手続きのオンライン窓口)を用いたパスポートの電子申請が、3月27日から始まります。申請時に窓口に行く必要がなくなり、スマートフォンなどで好きな場所から好きな時間に手続きができます。

電子申請はマイナポータル内のパスポート申請メニューを選択し、スマートフォンなどでマイナンバーカードや現在お持ちのパスポート(有効期間1年未満)の情報を読み取り申請。顔写真は無料の専用アプリを使って自分で撮影できるので、撮影料がかからず撮り直しも可能です。新規申請や記載事項変更の場合は窓口で戸籍謄本を郵送します。

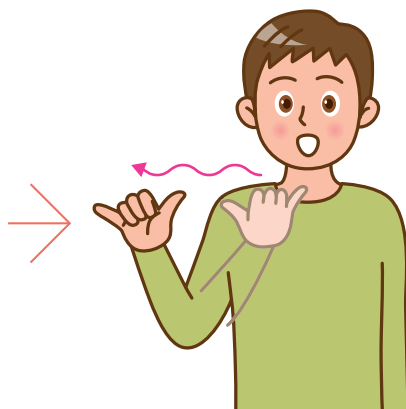
また、これまで手数料は収入印紙の購入や県収納窓口などでの納付が必要でしたが、電子納付できるようになります。電子申請の場合、窓口に行くのはパスポート交付時のみとなります。



# 手話を覚えてみよう▶▶「候補者／立候補者」



右手の丸めた5指の指先を  
左肩から右脇腹へ引き下ろし、



右手2指を立て、左右に  
半回転しながら右へ引く

第20回統一地方選挙(知事・県議会議員選挙)が4月9日に行われます。自分たちの明るい未来を創るため、貴重な一票を投票しましょう。

鳥取県選挙管理委員会では、小・中学校や高校などの児童・生徒を対象に「選挙出前講座」を行っています。若年層の投票率の現状や投票の手順を説明し、実際の投票箱や記載台などを用いた模擬投票で、選挙や政治への関心を高めています。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/263119.htm>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会  
☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



## 読者の声

(1月号の意見・感想から)

- 鳥取県は子ども食堂が多く、居場所づくりや産後ケアなど子育て政策に力を注いでいると知り魅力を感じました。(20代)
- バカロレア教育で鳥取から新しい教育の形が作られていくのが楽しみです。私も同世代なので興味があります。(10代)
- 地元の酒蔵が生きもと酛造りに取り組んでいる事が嬉しいです。純米酒の燗も試してみたくなりました。(50代)



1月号には1,014人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。

### 【お詫びと訂正】

2月号6ページの妊活webセミナーの内容に誤りがありました。正しくは下記になります。

【配信期間】3月13日(月)～26日(日)

【テーマ】「生殖医療保険適用の光と影」

【講師】ミオ・ファティリティ・クリニック  
院長 見尾 保幸さん

【申込期間】3月1日(水)～10日(金)



## 県産品プレゼント

### 牛骨炊出しスープ「白いおでん」(3人分)【5名】

最高品質の鳥取和牛のテールと牛すじをじっくりと煮込んだ白湯(パイタン)スープは、濃厚で上品な味わいです。牛すじ、卵、大根、ごぼう天、さつま揚げ、こんにゃく入り。湯煎するか、皿に移しレンジで温めて手軽に食べられます。



☎ Ties Food-Lab EN(米子市旗ヶ崎) ☎0859-21-9180 F 0859-21-9181



鳥取県では、公共交通を自家用車以上に便利で魅力的な移動手段としていく「OO」の取り組みを推進しています。Oに入るのは次のうちどれでしょう

ヒントは  
5頁

- ①MeeT ②MaaS ③Good

### 【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■応募締め切り 3月20日(月)必着



●はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」

●電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp

●県ウェブページ応募フォーム

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

◎2月号のクイズの答えは「①ねんりん」でした。

まろやかなすし酢で  
子どもも食べやすい!

豊富な栄養・手軽に採取  
みるくレシピ



Milk Recipe

## ヨーグルト寿司

【協力】大山乳業農業協同組合

**[材料] (8人分)**

- 米..... 3合
- プレーンヨーグルト..... 150g

**[A]**

- 酢..... 大さじ3
- 砂糖..... 大さじ3
- 塩..... 小さじ1/2

**[具]**

いりごま、薄焼き卵、ハム、インゲン、たくあん、かいわれ大根、カニカマ、ツナ(水煮)、甘酢しょうが、刻みのりなど

**[作り方]**

- ①米を洗って、かための水加減で炊く。
- ②ヨーグルトに【A】を混ぜ、合わせ酢にする。
- ③炊き上がったご飯に②を混ぜて、すし飯にする。
- ④細かく刻んだ【具】をのせる。

県からの  
お知らせ

県職員・警察官を募集します

令和5年度の県職員・警察官採用試験を表のとおり実施します。大学卒業程度(技術・専門職)は、年齢要件や試験内容の変更で、より受験しやすくなりました。詳細はウェブページに順次掲載する「受験案内」をご確認ください。

【警察官】

試験の種類	受験案内掲載	受付期間	1次試験日
A(大学卒業(見込み)者対象)(1回目)	3月中旬	3/17~4/17	5/14(日)
B(A以外)(1回目)			
A・B(2回目)	7月中旬	7/28~8/28	9/17(日)

問 県人事委員会事務局

☎0857-26-7553 ☒0857-26-8119

<https://www.pref.tottori.lg.jp/301837.htm>



【県職員】

試験の種類	受験案内掲載	受付期間	1次試験日
大学卒業程度 事務(キャリア総合) 事務(一般・総合分野)、 技術・専門職、 警察行政	2月下旬	3/1~4/4	5/14(日)
		3/1~5/18	6/18(日)
民間企業等経験者対象 氷河期世代チャレンジ枠	6月下旬	6/27~7/25	8/27(日)
高卒程度・短大卒程度	7月中旬	7/28~8/28	9/24(日)
障がい者対象	8月下旬	8/25~9/13	10/22(日)

# ハンセン病元患者のご家族へ

## ~対象となる方々に「補償金」を支給します~

広告



○この補償金は、国が、誤った隔離政策により、元患者のご家族の皆様が多量の苦痛と苦難を強いてきたことを心からお詫びし、その精神的苦痛を慰謝するためのものです。

○請求に関する情報が、請求から受給まで、請求者及びその指定する者以外に知られることが無いように配慮しています。

○秘密は守られますので、まずは、お電話でご相談ください。不安なお気持ちやご質問にも丁寧に答えます。

厚生労働省 補償金担当窓口

電話番号 **03-3595-2262**

受付時間 10:00~16:00(月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。)



対象者	(ア) 配偶者(事実婚も含む) (イ) 親、子 (ウ) 親・子の配偶者及び 配偶者の親・子等	補償金額 180 万円
	(エ) 兄弟姉妹 (オ) 祖父母・孫 (カ) 祖父母・兄弟姉妹・孫の 配偶者及び配偶者の祖父母・ 兄弟姉妹・孫等 (キ) 曾祖父母、ひ孫、おじ、 おば、おい、めい	補償金額 130 万円

※ 同居など一定の要件が必要な場合があります。

請求期限は、令和6年  
(2024年) 11月21日まで

ハンセン病問題を正しく理解し、  
偏見や差別のない社会の実現を目指しましょう。

ハンセン病 厚労省 🔍 検索

※ 広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。